各部会の報告（事務局会議実施日：令和７年６月５日時点）

※前回の開催については、報告済みの会議は除きます。

相談支援部会		
前回の開催内容報告	令和７年５月７日（水）13：30～15：00	**参加人数　31 名**

今月の内容は、今年度の相談支援部会についての説明と、部会長に「はちす園」の廣瀬さん、副部会長に「帯広あおぞら」の河井さんの選出・承認を行い、各事業所からの情報交換、その後事例検討会を行った。

情報交換の中では、昨年度から出ている課題について、慢性的な人材不足とケアマネをつけないとサービス利用ができない等の困り感を抱えている利用者への対応や現状等について、改めて話題提供し、他部会や他分野と連携し、お互いの役割を知ることの必要性について、参加者で共有ができた。その後、2 事例の事例検討を実施した。その中の、帯広市に転入のきっかけで、本人の希望するサービス利用に繋げる動きでの難しさについて検討を行った。

今年度は事例のテーマを「困難なケース」に焦点をあて、事例進行と事例板書についても参加者で行い、役割分担等、協力しながら意見交換を行っていく方向。

次回開催予定

令和７年７月２日(水)　基幹研修予定　13：30～15：00

精神保健部会		
前回の開催内容報告	令和７年５月 21 日（水）13：30～15：00	**参加人数　29 名**

今月の内容は、今年度の精神保健部会についての説明と、部会長に「生活支援センター」森さん、副部会長に「大江病院」の匂坂さんを選出、承認を行い、各事業所の情報交換を行い、今年度の体制等について確認をした。

話題提供として、だいちより就労選択支援についての情報提供と、その後、事例を通した意見交換では、現在入院中の 50 代、一人暮らしをしている精神障害の方で、退院後の生活に向けての体制作りで、ゴミ屋敷等の片付けに関しての手立てや、本人との関係構築について、参加者で検討した。また、厚労省からの報告で、「薬物依存症の方が医療機関等に受診、相談をした時の情報提供の在り方に関する研究」についての話題提供では、医療現場や相談現場において、薬物依存症の方が受診された時に、通報すべきか等、実際に関わったケースの話題について話合った。治療や相談支援が優先されていることが研究結果でも明らかになっており、実際に関わった現場や、本人の状況に応じて判断が必要となることが共有できた。

この部会では、今後も困った時に事例を挙げることで、対応を一緒に検討できることを確認できた。

次回開催予定

令和７年６月 18 日（水）13：30～15：00

就労支援部会		
前回の開催内容報告	令和７年５月 16 日(金)　13：30～15：30	**参加人数　29 名**

令和７年度の部会長・副部会長を選任、事業内容の決定、情報交換会を行った。

令和７年度の事業内容は、昨年度のアンケート調査にて希望の多かったスタッフのスキルアップを目的に、個別支援や就労アセスメントに関する研修のほか、企業・事業所の見学を行うことで決定した。

情報交換会では、①事業所内で個別支援スキルの向上のために行っていること、②一般就労に繋げる支援について、③工賃向上のために事業所で行っていること、④利用者確保のために事業所で行っていることの４つのテーマについて、４つのグループに分けて情報交換を行った。

各テーマを中心に、サービス種類の同異によらず、各事業所の状況や悩みなどを共有して、交流をはかった。

その他、帯広市役所での職場体験実習の参加者募集について説明した。

次回開催予定

令和７年７月 14 日（月）13:30～15:30　スキルアップに向けた事例検討の予定